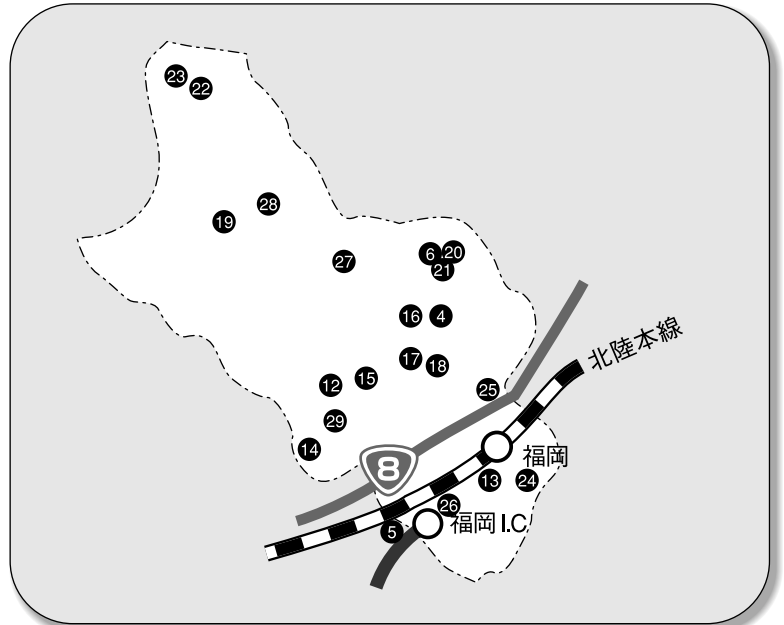


福岡町の文化財

 No.
35

1 福岡町の文化財の特徴

当町には、国・県・町あわせて計29件の指定・登録文化財があります。最多時期は中世で古墳時代（横穴墓含む）が続きます。また、能越道の発掘調査では県内最大級の弥生時代のムラ跡が発見され、山間部には旧石器から縄文時代の遺跡が点在しています。今も当時の面影を残す中心市街地は、加賀藩主が参勤交代の折、通行した街道に位置し、近世～近代にかけて発展しました。遙か昔から現在に至る文化財が残る町、それが福岡です。



福岡町記念物地図

2 記念物見て歩きガイド

「木舟城跡」

寿永3年(1184)石黒太郎光弘の築城と伝えます。石黒氏は、戦国時代に有力国人領主に成長しますが、織田信長の越中侵攻により滅亡します。その後、上杉・佐々・前田と城を治める勢力は移り替わりますが、突如城を襲った天正地震(1586)は、城主前田秀継(利家の弟)夫妻を圧死させ、城を廃城へと導く要因となりました。近年の発掘調査によって、城の盛期が16世紀代にあり、城下町が広範囲に形成されていたこと等が明らかにされています。



「赤丸浅井神社の大けやき」

浅井神社は、養老元年(717)創建と伝えられる延喜式内社です。境内には、この大けやきに加え、町指定のけやきもあります。大けやきの幹廻りは約9.3mあり、県内最大のものです。また、神社に至る参道両脇には杉並木(町指定)がずらりと並んでおり、浅井神社の由緒の古さを物語っています。

「城ヶ平横穴古墳群」

この古墳群は、城ヶ平山の東側山腹にあり舞谷側で43基・馬場側で9基確認されています。明治41年に行われた発掘では、人骨に加え多彩な副葬品が発見されました。中でも、銀で象嵌された頭椎柄頭（そうがんと かぶつちのつかがしら）は県内唯一の現存品です。また、山上一帯には大規模な縄張りをもつ赤丸城（町指定）があり、文化財が多く残される山です。



3 福岡町の文化財一覧

番号	指定別	種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者	指定月日
1	国	建造物	佐伯家住宅	1棟	福岡 糞島495	佐伯久敬	昭46.3.11
2	〃	登録文化財	福岡町歴史民俗資料館(旧福岡町役場)	1棟	〃 下向田15	福岡町	平9.11.5
3	県	古文書	木造篠川村市場制札	2面	〃 小野240	西照寺	昭40.10.1
4	〃	史跡	城ヶ平横穴古墳	52	〃 舞谷65	福岡町	昭40.1.1
5	〃	〃	木舟城跡		〃 木舟650-684	〃	昭40.10.1
6	〃	天然記念物	赤丸浅井神社の大けやき		〃 赤丸古屋5324	浅井神社	〃
7	町	工芸品	景岸製尺三組井(景岸焼 三組大鉢)	3	〃 元町	上野美好	平12.4.21
8	〃	〃	槍銘宇多勝国	1	〃 福岡町歴史民俗資料館	福岡町	〃
9	〃	古文書	杉野家古文書	3,656点	〃 〃	〃	昭49.10.22
10	〃	考古資料	珠洲焼刻銘経外容器(経筒)	1	〃 〃	西井龍儀	平12.4.21
11	〃	無形文化財	雅楽	1	〃 福岡	洋遊会	昭45.11.17
12	〃	史跡	西明寺塚五輪塔	2基	〃 西明寺	西明寺自治会	昭45.7.17
13	〃	〃	宝性寺跡	1	〃 上糞	いずみ化成	〃
14	〃	〃	上野古墳群	1	〃 上野	福岡町	〃
15	〃	〃	下向田古墳群	14基	〃 下向田	〃	昭60.4.1
16	〃	〃	赤丸城址	1	〃 舞谷字城ヶ平	谷口幸治外	平12.11.27
17	〃	〃	鴨城址	1	〃 加茂字大松平	畠山義一外	〃
18	〃	〃	加茂横穴墓群	26基	〃 〃	中田晶子外	〃
19	〃	名勝	五位の滝の沢	1	〃 五位	福岡町	昭46.11.11
20	〃	天然記念物	浅井神社のけやき	1本	〃 赤丸古屋5324	浅井神社	昭45.7.17
21	〃	〃	浅井神社の杉並木	69本	〃 〃	〃	〃
22	〃	〃	沢川愛宕社の大いちよう	1	〃 沢川	愛宕社	昭45.11.24
23	〃	〃	沢川田畑家の大杉	1	〃 〃	田畑芳子	〃
24	〃	〃	一步の菩提樹	1	〃 一步二歩	一步二歩自治会	昭46.11.11
25	〃	〃	旧北陸道の往還松	1	〃 大野	福岡町	〃
26	〃	〃	木舟鐘泉寺のいちよう	1	〃 木舟	鐘泉寺	昭47.11.17
27	〃	〃	花尾の江戸彼岸桜	1	〃 花尾	福岡町	昭47.11.24
28	〃	〃	五位の玉ネギ層	1	〃 五位	〃	昭51.10.2
29	〃	〃	浄永寺の大いちよう	1	〃 上向田	浄永寺	昭55.10.22

4 問い合わせ先等